

世界怪談名作集

序／目次

岡本綺堂編訳

青空文庫

序

外国にも怪談は非常に多い。古今の作家、大抵は怪談を書いている。そのうちから最も優れたものを選ぶというのはすこぶる困難な仕事であるので、ここでは世すでに定評ある名家の作品のみを紹介することにした。したがつて、その多数がクラシックに傾いたのはまことに已む得ない結果であると思つてもらいたい。

怪談と言つても、いわゆる幽靈物語ばかりでは単調に陥る嫌いがあるので、たどり幽靈は出現しないでも、その事実の怪奇なるものは採録することにした。たとえば、ホーリーの作には「ドクトル・ハリスの幽靈」があるにもかかわらず、ここには「ラツパチーニの娘」を採録した類である。ストックトンの「幽靈の移転」のような、ユーモラスの物を加えたのも、やはり單調を救うの意にほかならない。

アンドレーフの作の「」ときはすこぶる芸術味の豊かなもので、大衆向にはどうあろうかと少しく躊躇したのであるが、普通の怪談とはその選を異にし、死から一旦よみがえったラザルスという男を象徴にして、「死」に対する人間の恐怖を力強く描いたもので、

こういう物も一つぐらいは読んで貰いたいという心から掲載することにしたのである。

アラン・ポーの作品——殊にかの「黒猫」の「」ときは、当然ここに編入すべきであつたが、この全集には別にポーの傑作集が出ているので、遺憾ながら省くことにして、その代りに、ポーの二代目ともいうべきビヤースの「妖物」ダムドシングを掲載した。人にあらず、獸にあらず、形もなく、影もなく、わが国のいわゆる「鎌いたち」に似て非なる一種の妖物があらざる異常の力をもつて人間を粉碎する怪奇の物語は、実に戦慄に値すると言つてよからう。

支那も怪談の本場であるから、いわゆる「志怪」の書なるものは實に枚挙に暇あらず、これもその選択にすこぶる窮したのであるが、紙数の都合で「牡丹燈記」を選ぶことにした。これは「剪燈新話」中の一節で、誰も知つてゐる「牡丹燈籠」の怪談の原作である。

ここに編入されたものは、外国の怪談十六種、支那の怪談一種、その原著者はいずれも古今著名の人びとのみで、いちいちあらためて紹介するまでもあるまいと思われる所以で、単にその時代と出生地のみを記録するにとどめて置いた。

昭和四年初夏

訳者

目次

貸家 リットン

スペードの女王 プーシキン

ダムドシング
妖物 ビヤース

クラリモンド ゴーチエ

信号手 ディッケンズ

ヴィール夫人の亡靈 デフォー

ラツパチーニの娘 ホーソーン

北極星号の船長 ドイル

廃宅 ホフマン

聖餐祭 フランス

幻の人力車 キップリング

アツバ
上床 バース

ラザルス アンドレーフ
クラウフォード

幽靈 モーパッサン

鏡中の美女 マクドナルド

幽靈の移転 ストックトン

牡丹燈記 霽宗吉

青空文庫情報

底本：「世界怪談名作集 上」河出文庫、河出書房新社

1987（昭和62）年8月4日初版発行

入力：もりみつじゅんじ

校正：門田裕志

2003年11月25日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) に作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

世界怪談名作集

序／目次

2020年 7月17日 初版

奥付

発行 青空文庫

著者 岡本綺堂編訳

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>